



↑旧犬塚家住宅（現・市陶器商家資料館）

佐賀・長崎県と伊万里市、有田町など6市2町で構成する『肥前窯業圏』が、4月25

## 『肥前窯業圏』が日本遺産に認定 大川内山や旧犬塚家住宅などが認定

日、『日本磁器のふるさと 肥前』として文化庁の日本遺産に認定されました。日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色など、有形・無形の文化財を認定・支援するもので、平成27年度から始まったものです。今回市においては、大川内鍋島窯跡、大川内山、旧犬塚

家住宅、旧戸渡嶋神社、茅ノ谷手水鉢（伊万里神社）、茅ノ谷1号窯跡（松浦町）などが認定されています。



↑大川内山の町並み



6月23日（木）～29日（水）は『男女共同参画週間』です

●問合先 男女協働推進課男女協働推進係（☎2115）

## ～意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。～

国は、平成11年6月に施行された『男女共同参画社会基本法』の理解を深めるため、毎年6月23日から29日までを『男女共同参画週間』と定めています。今年度のキャッチフレーズは、『意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。』。これは、『旧来の労働慣行や意識を変え、女性も男性も多様な暮らしや働き方が可能な社会を作るためのキャッチフレーズ』として公募により選ばれました。これまで男性目線で考えていたことに発想の転換が生まれ、女性が活躍できる社会をすることにより、活力ある地域づくりが期待されます。男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる『男女共同参画社会』を実現するためには、国や県、市だけでなく、皆さん一人一人の取り組みが必要です。

市では、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる社会を実現し、未来の子ども達に引き継ぐため、4月に『伊万里市男女協働参画を推進する条例』を施行しました。市は、この条例により暮らしの中に男女協働参画が根付いていくことをめざしています。

### 市がめざす男女協働参画社会

- ・みんなの人権を尊重します
- ・性別で役割や行動を決めつけません
- ・男女が一緒に考えて決定します
- ・家庭でも社会でも支え合います
- ・心と体の健康を大切にします
- ・差別や暴力を許しません

## 郷土の文化財

腰岳と黒曜石シリーズ③

●問合先 生涯学習課文化財係

（☎3186）

### 旧石器時代の腰岳の黒曜石利用

先史時代に石器の素材として極めて有用であった腰岳の黒曜石は、九州内各地の数多くの遺跡で出土しています。さらに、遠くは沖縄本島や朝鮮半島に持ち出されていた例もあります。一方、原産地である腰岳周辺の遺跡での出土状況はどうでしょうか。

旧石器時代の腰岳周辺の主な遺跡の一つに、小木原遺跡があります。

小木原遺跡は、腰岳の北西側中腹・標高200m前後にある、約2万7000年前～1万9000年前のもの。8000点近くある出土遺物の多くは、石器製作の過程で生ずる不定型な剥片と砕片です。これに対して、定型的な石器は、わずか31点しかありません。



↑小木原遺跡から出土した黒曜石

このように、出土遺物のほとんどが石器製作の過程で生ずる『かけら』で占められています。このような特徴は、良質な石器石材原産地に特有の傾向です。これは、古くから人類が黒曜石を手に入れ、道具を作り、ほかの地域に持ち出すために腰岳やその周辺地域に来ていたことを示していると言えます。